

令和 7 年 11 月 28 日

吸收合併に係る事前開示書面

名古屋市西区那古野一丁目 1 番 12 号
株式会社カノークス
代表取締役社長 小河 正直

株式会社カノークス（以下「吸收合併存続会社」という）は、2026 年 1 月 1 日を効力発生日とし、吸收合併存続会社の完全子会社である株式会社カノークス鋼管東海、株式会社カノークス鋼管九州、株式会社カノークス鋼管関東の 3 社（以下「吸收合併消滅会社」という）を吸收合併すること（以下「本合併」という）といたしました。

本合併を行うに際して、会社法第 794 条第 1 項及び会社法施行規則第 191 条並びに会社法第 782 条第 1 項及び会社法施行規則第 182 条により開示すべき事項は、以下のとおりです。

記

1. 吸收合併契約の内容

本合併における吸收合併契約の内容は、別紙 1～3 のとおりです。

2. 対価の相当性に関する事項

吸收合併存続会社の完全子会社との合併であるため、本合併に際し、その対価として株式、金銭その他財産の交付は行いません。

3. 吸收合併消滅会社の計算書類に関する事項

株式会社カノークス鋼管東海
別紙 4 のとおりです。

株式会社カノークス鋼管九州
別紙 5 のとおりです。

株式会社カノークス鋼管関東
会社設立後、決算期末到来のため、確定した計算書類はございません。

4. 吸収合併消滅会社の最終事業年度末日後に生じた重要な後発事象の内容

株式会社カノーカス鋼管東海

2025年11月26日、吸収合併存続会社との間で、2026年1月1日を効力発生日として、吸収合併契約を締結いたしました。(本合併)

株式会社カノーカス鋼管九州

2025年11月26日、吸収合併存続会社との間で、2026年1月1日を効力発生日として、吸収合併契約を締結いたしました。(本合併)

株式会社カノーカス鋼管関東

2025年11月26日、吸収合併存続会社との間で、2026年1月1日を効力発生日として、吸収合併契約を締結いたしました。(本合併)

5. 吸収合併存続会社の最終事業年度末日後に生じた重要な後発事象の内容

(1) 事業譲受および子会社設立について

吸収合併存続会社は、2025年10月31日開催の取締役会において、ミツミホールディングス株式会社の子会社であるミツミ九州株式会社、ミツミ九州株式会社の子会社である株式会社昭和金属が営む事業のうち、鋼材加工・販売及びこれに付帯する事業の一部を吸収合併存続会社が設立した子会社が譲受けることを決議し、事業譲渡契約を締結いたしました。

(2) 完全子会社との吸収合併契約締結の件(本合併)

吸収合併存続会社は、2025年11月26日、吸収合併消滅会社との間で、2026年1月1日を効力発生日として、吸収合併契約を締結いたしました。

6. 存続会社の債務の履行の見込みに関する事項

本合併後の吸収合併存続会社の資産の額は、負債の額を十分に上回ることが見込まれます。また、本合併後の吸収合併存続会社の事業活動において、吸収合併存続会社が負担すべき債務の履行に支障を及ぼす事態の発生は現在予想されておりません。

以上により、本合併の効力が生ずる日以降における吸収合併存続会社の債務につき、履行の見込みはあるものと判断いたしました。

以上

別紙 1

吸收合併契約書

株式会社カノーラス（以下「甲」という。）と株式会社カノーラス钢管東海（以下「乙」という。）とは、次のとおり吸收合併契約（以下「本契約」という。）を締結する。

第1条

- 甲と乙は、甲を吸收合併存続会社、乙を吸收合併消滅会社として吸收合併（以下「本合併」という。）を行う。
- 本合併に係る吸收合併存続会社及び吸收合併消滅会社の商号及び住所は、以下のとおりである。

甲：吸收合併存続会社

商号 株式会社カノーラス

住所 愛知県名古屋市西区那古野一丁目1番12号

乙：吸收合併消滅会社

商号 株式会社カノーラス钢管東海

住所 愛知県愛知郡東郷町大字諸輪字仲田7番地1

第2条

- 本合併の効力発生日は令和8年1月1日とする。ただし、前日までに合併に必要な手続きが遂行できないときは、甲及び乙が、協議の上、会社法の規定に従い、これを変更することができる。

第3条

- 甲は、乙の発行済株式の全部を所有しているため、本合併に際して、甲から乙の株主に対する乙の株式に代わる対価の交付は行わない。

第4条

- 本合併により、甲の資本金及び資本準備金は増加しない。

第5条

- 本合併は、甲においては、会社法第796条第2項に基づく簡易合併であり、株式会社カノーラス钢管東海においては、会社法第784条第1項に定める略式合併であるため、いずれも合併契約承認に関する株主総会は開催しない。

第6条

- 甲は効力発生日において、乙の資産及び負債の一切の権利義務を承継する。

第7条

1. 甲及び乙は、本契約締結後、効力発生日に至るまで、善良なる管理者の注意をもって各業務を遂行し、かつ、一切の財産の管理を行う。

第8条

1. 甲は、効力発生日において、乙の従業員を甲の従業員として雇用する。
2. 勤続年数は、乙の計算方式による年数を通年するものとし、その他の細目については甲及び乙が協議して決定する。

第9条

1. この契約締結の日から効力発生日までの間において、天災地変その他の理由により、甲若しくは乙の資産状態又は経営状態に重大な変更が生じた場合又は隠れたる重大な瑕疵が発見された場合には、甲及び乙が協議の上、本契約を変更し又は解除することができる。

第10条

1. 本契約に規定のない事項又は本契約書の解釈に疑義が生じた事項については、甲及び乙が誠意をもって協議の上解決する。

本契約の締結を証するため本書2通を作成し、甲乙各1通を保有する。

令和7年11月26日

甲：愛知県名古屋市西区那古野一丁目1番12号

株式会社カノ一クス

代表取締役社長 小河正直

乙：愛知県愛知郡東郷町大字諸輪字仲田7番地1

株式会社カノ一クス鋼管東海

代表取締役社長 鈴木隆介

別紙 2

吸收合併契約書

株式会社カノーラス（以下「甲」という。）と株式会社カノーラス鋼管九州（以下「乙」という。）とは、次のとおり吸收合併契約（以下「本契約」という。）を締結する。

第1条

- 甲と乙は、甲を吸收合併存続会社、乙を吸收合併消滅会社として吸收合併（以下「本合併」という。）を行う。
- 本合併に係る吸收合併存続会社及び吸收合併消滅会社の商号及び住所は、以下のとおりである。

甲：吸收合併存続会社

商号 株式会社カノーラス

住所 愛知県名古屋市西区那古野一丁目1番12号

乙：吸收合併消滅会社

商号 株式会社カノーラス鋼管九州

住所 大分県中津市大字福島915番地

第2条

- 本合併の効力発生日は令和8年1月1日とする。ただし、前日までに合併に必要な手続きが遂行できないときは、甲及び乙が、協議の上、会社法の規定に従い、これを変更することができる。

第3条

- 甲は、乙の発行済株式の全部を所有しているため、本合併に際して、甲から乙の株主に対する乙の株式に代わる対価の交付は行わない。

第4条

- 本合併により、甲の資本金及び資本準備金は増加しない。

第5条

- 本合併は、甲においては、会社法第796条第2項に基づく簡易合併であり、株式会社カノーラス鋼管九州においては、会社法第784条第1項に定める略式合併であるため、いずれも合併契約承認に関する株主総会は開催しない。

第6条

- 甲は効力発生日において、乙の資産及び負債の一切の権利義務を承継する。

第7条

1. 甲及び乙は、本契約締結後、効力発生日に至るまで、善良なる管理者の注意をもって各業務を遂行し、かつ、一切の財産の管理を行う。

第8条

1. 甲は、効力発生日において、乙の従業員を甲の従業員として雇用する。
2. 勤続年数は、乙の計算方式による年数を通年するものとし、その他の細目については甲及び乙が協議して決定する。

第9条

1. この契約締結の日から効力発生日までの間において、天災地変その他の理由により、甲若しくは乙の資産状態又は経営状態に重大な変更が生じた場合又は隠れたる重大な瑕疵が発見された場合には、甲及び乙が協議の上、本契約を変更し又は解除することができる。

第10条

1. 本契約に規定のない事項又は本契約書の解釈に疑義が生じた事項については、甲及び乙が誠意をもって協議の上解決する。

本契約の締結を証するため本書2通を作成し、甲乙各1通を保有する。

令和7年11月26日

甲：愛知県名古屋市西区那古野一丁目1番12号

株式会社カノーツ

代表取締役社長 小河正直

乙：大分県中津市大字福島915番地

株式会社カノーツ鋼管九州

代表取締役社長 南形武志

別紙3

吸收合併契約書

株式会社カノーラス（以下「甲」という。）と株式会社カノーラス钢管関東（以下「乙」という。）とは、次のとおり吸收合併契約（以下「本契約」という。）を締結する。

第1条

- 甲と乙は、甲を吸收合併存続会社、乙を吸收合併消滅会社として吸收合併（以下「本合併」という。）を行う。
- 本合併に係る吸收合併存続会社及び吸收合併消滅会社の商号及び住所は、以下のとおりである。

甲：吸收合併存続会社

商号 株式会社カノーラス

住所 愛知県名古屋市西区那古野一丁目1番12号

乙：吸收合併消滅会社

商号 株式会社カノーラス钢管関東

住所 埼玉県鴻巣市上会下字白幡612番地13

第2条

- 本合併の効力発生日は令和8年1月1日とする。ただし、前日までに合併に必要な手続きが遂行できないときは、甲及び乙が、協議の上、会社法の規定に従い、これを変更することができる。

第3条

- 甲は、乙の発行済株式の全部を所有しているため、本合併に際して、甲から乙の株主に対する乙の株式に代わる対価の交付は行わない。

第4条

- 本合併により、甲の資本金及び資本準備金は増加しない。

第5条

- 本合併は、甲においては、会社法第796条第2項に基づく簡易合併であり、株式会社カノーラス钢管関東においては、会社法第784条第1項に定める略式合併であるため、いずれも合併契約承認に関する株主総会は開催しない。

第6条

- 甲は効力発生日において、乙の資産及び負債の一切の権利義務を承継する。

第7条

1. 甲及び乙は、本契約締結後、効力発生日に至るまで、善良なる管理者の注意をもって各業務を遂行し、かつ、一切の財産の管理を行う。

第8条

1. 甲は、効力発生日において、乙の従業員を甲の従業員として雇用する。
2. 勤続年数は、乙の計算方式による年数を通年するものとし、その他の細目については甲及び乙が協議して決定する。

第9条

1. この契約締結の日から効力発生日までの間において、天災地変その他の理由により、甲若しくは乙の資産状態又は経営状態に重大な変更が生じた場合又は隠れたる重大な瑕疵が発見された場合には、甲及び乙が協議の上、本契約を変更し又は解除することができる。

第10条

1. 本契約に規定のない事項又は本契約書の解釈に疑義が生じた事項については、甲及び乙が誠意をもって協議の上解決する。

本契約の締結を証するため本書2通を作成し、甲乙各1通を保有する。

令和7年11月26日

甲：愛知県名古屋市西区那古野一丁目1番12号

株式会社カノーツ

代表取締役社長 小河正直

乙：埼玉県鴻巣市上会下字白幡612番地13

株式会社カノーツ鋼管関東

代表取締役社長 友野光朗

第 6 期

(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

事 業 報 告

事業報告の附属明細書

計 算 書 類

計算書類の附属明細書

2025年4月30日

株式会社カノ一クス鋼管東海

事 業 報 告

自 2024年 4月 1日
至 2025年 3月 31日

1. 事業の現況に関する事項

(1) 事業の経過及びその成果

当事業年度におけるわが国経済は、インバウンド需要の恩恵や雇用・所得環境が改善する中で、景気は緩やかな回復基調となりましたが、原材料価格の高止まりによる物価上昇傾向や、中国における不動産不況による更なる経済悪化リスク、米国の関税政策の影響懸念、不安定な為替相場など、先行きは不透明な状況が続いております。

当社事業においては、上期に完成車メーカー等での相次ぐ認証不正問題の影響により不安定な自動車生産が続きましたが、下期からは生産安定化を取り戻しており、加工本数は12,176千本（前年同期比0.7%減）となりました。以上の結果、売上高は340,174千円（前年同期比2.7%減）となり、利益面では、経常利益31,702千円（前年同期比22.7%減）、当期純利益21,641千円（前年同期比17.0%減）となりました。

(2) 設備投資

当事業年度に取得した主な新たな設備について

プロボックスHEV	(車両及び運搬具	1,761千円)
フォークリフト8FBH15	(車両及び運搬具	1,760千円)

(3) 直前三事業年度の財産及び損益の状況

	第3期 (2022年3月期)	第4期 (2023年3月期)	第5期 (2024年3月期)	第6期 (当事業年度) (2025年3月期)
売上高（千円）	314,556	315,743	349,754	340,174
経常利益(千円)	14,393	20,281	41,011	31,702
当期純利益（千円）	11,623	15,365	26,076	21,641
1株当たり当期純利益（円）	4842.96	6,402.38	10,865.28	9,017.10
総資産（千円）	227,565	229,991	188,481	198,984
純資産（千円）	103,868	119,233	145,310	166,951
1株当たり純資産額（円）	43,278.37	49,680.75	60,546.02	69,563.13

(4) 対処すべき課題

生産効率向上のための設備メンテナンス及び更新を行い、新たな受注を獲得することによる業績の改善を推進します。また、従業員の平均年齢も高くなっていることから、新たな労働力確保にも努めてまいります。

(5) 主要な事業内容

鉄鋼加工品、その他の鉄鋼製品の製造、加工及び販売

(6) 従業員の状況

従業員数	前期末比較増減	平均年齢
32名	1人増	45歳 8ヶ月

(7) 重要な親会社の状況

親会社の状況

当社の親会社は株式会社カノーラスであり、同社は当社の株式を2,400株（出資比率100%）保有しております。当社は親会社へ鋼管切断加工の取引を行っております。

2. 株式に関する事項

(1) 発行可能株式総数 6,000株

(2) 発行済株式の総数 2,400株

(3) 株主数 1名

株主名	持株数	議決権比率
株式会社カノーラス	2,400株	100%

3. 会社役員に関する事項

地位	氏名	重要な兼職の状況
代表取締役	鈴木 隆介	
取締役	藤本 善久	株式会社カノーラス取締役常務執行役員 営業本部長 兼 西日本支社長
取締役	水野 伸	株式会社カノーラス執行役員 名古屋本店長 兼 自動車鋼材部長
監査役	森 信嘉	株式会社カノーラス 管理本部審査部長

(注) 1、取締役 藤本 善久は2025年4月1日をもって辞任しました。

2、2025年4月1日開催の臨時株主総会において山内 俊浩が選任され就任しました。

なお、山内 俊浩は2025年4月1日付で、株式会社カノーラス名古屋本店自動車鋼材部長に就任しております。

3、取締役 水野 伸は2025年4月1日付で株式会社カノーラス執行役員 営業本部長 自動車鋼材管掌 兼 名古屋本店長に就任しました。

4、監査役 森 信嘉は、2025年4月1日付で株式会社カノーラス管理本部業務部長 兼 業務安全衛生課長に就任しました。

事業報告の附属明細書

第 6 期

自 2024年 4月 1日
至 2025年 3月 31日

1. 他の法人等の業務執行取締役等との重要な兼職の状況

区分	氏名	兼職先	兼務の内容
取締役	藤本 善久	株式会社カノーラス	取締役常務執行役員 営業本部長 兼 西日本支社長
取締役	水野 伸	株式会社カノーラス	執行役員 名古屋本店長 兼 自動車鋼材部長

第 6 期
貸 借 対 照 表
(2025年3月31日現在)

(単位: 円)

株式会社カノーカス鋼管東海

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
I 流 動 資 産	(128,340,163)	I 流 動 負 債	(32,033,294)
現 金 及 び 預 金	90,793,963	未 払 金	10,629,034
売 掛 金	34,643,910	未 払 費 用	1,974,691
そ の 他	2,902,290	未 払 法 人 税 等	2,591,503
		未 払 消 費 税 等	3,601,776
		預 り 金	477,640
		賞 与 引 当 金	10,425,000
		前 受 金	2,333,650
II 固 定 資 産	(70,644,636)	負 債 合 計	(32,033,294)
(1)有形固定資産	(70,634,636)	(純 資 産 の 部)	
機 械 及 び 装 置	59,267,157	I 株 主 資 本	(166,951,505)
車 両 運 搬 具	5,859,150	(1)資 本 金	(60,000,000)
工 具 器 具 備 品	5,508,329	(2)資本剰余金	(60,000,000)
(2)投資その他資産	(10,000)	資 本 準 備 金	60,000,000
そ の 他 の 投 資	10,000	(3)利 益 剰 余 金	46,951,505
		そ の 他 利 益 余 剰 金	46,951,505
		繰 越 利 益 剰 余 金	46,951,505
		純 資 産 合 計	166,951,505
資 産 合 計	198,984,799	負 債 及 び 純 資 産 合 計	198,984,799

第6期
損益計算書
(自 2024年4月1日至 2025年3月31日)

(単位: 円)

株式会社カノーツ鋼管東海

科 目	金 額
I 売 上 高	340,174,175
II 売 上 原 価	291,434,927
売 上 総 利 益	48,739,248
III 販売費及び一般管理費	25,854,774
營 業 利 益	22,884,474
IV 営 業 外 収 益	
受 取 利 息	302,138
受 取 貸 貸 料	25,438,000
雜 収 入	1,447,667
	27,187,805
V 営 業 外 費 用	
賃 貸 資 産 費 用	18,000,000
雜 損 失	369,430
經 常 利 益	31,702,849
税 引 前 当 期 純 利 益	31,702,849
法人税、住民税及び事業税	10,061,803
当 期 純 利 益	21,641,046

株主資本等変動計算書(第6期)

事業年度(自2024年4月1日 至2025年3月31日)

株式会社カノークス鋼管東海

(単位:円)

	株主資本						株主資本 合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金			利益剰余金 合計		
			利益準備金	その他利益剰余金				
当期首残高	60,000,000	60,000,000	—	25,310,459	25,310,459	145,310,459		
当期変動額								
当期純利益				21,641,046	21,641,046	21,641,046		
当期変動額合計	—	—	—	21,641,046	21,641,046	21,641,046		
当期末残高	60,000,000	60,000,000	—	46,951,505	46,951,505	166,951,505		

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

定額法によっております。

なお、主な耐用年数は次の通りであります。

機械及び装置 2年 ~ 11年

工具器具備品 3年 ~ 15年

車両及び運搬具 2年 ~ 6年

(2) 引当金の計上基準

賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

(3) 収益及び費用の計上基準

鉄鋼製品等の役務提供に係る収益は、主に加工等による役務提供であり、顧客との契約に基づいて鉄鋼製品等を加工する履行義務を負っております。当該履行義務は、鉄鋼製品等の加工が完了する一時点において、顧客に対する履行義務が充足されると判断し、加工完了時点で収益を認識しております。

2. 貸借対照表に関する注記

(1) 資産に係る減価償却累計額

有形固定資産の減価償却累計額 50,734 千円

(2) 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務

短期金銭債権 34,992 千円

短期金銭債務 1,332 千円

3. 損益計算書に関する注記

関係会社との取引

営業取引による取引高

売上高 340,174 千円

製造原価の取引高 85,112 千円

販売費及び一般管理費の取引高 1,418 千円

営業取引以外の取引による取引高 279 千円

4. 関連当事者との取引に関する注記

親会社及び法人主要株主等

種類	会社等の名称	議決権等の被所有割合	関連当事者との関係	取引内容	取引金額(千円)	科目	期末残高(千円)
親会社	㈱カノーラス	被所有 直接 100%	鋼管加工	鋼管切断加工及び倉庫荷役業務	340,174	売掛金	34,643

取引条件及び取引条件の決定方針等

鋼管の加工代金は市場の実勢価格を基準として取り決めております。

5. 1株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産額 69,563 円 13 銭

1株当たり当期純利益 9,017 円 10 銭

6. 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。

計算書類の附属明細書

第 6 期

自 2024年 4月 1日

至 2025年 3月 31日

1. 有形固定資産及び無形固定資産の明細

2. 引当金の明細

3. 製造原価報告書

4. 販売費及び一般管理費の明細

1. 有形固定資産及び無形固定資産の明細

(単位：千円)

区分	資産の種類	期首帳簿 価額	当期 増加額	当期 減少額	当期 償却額	期末帳簿 価額	減価償却 累計額
有形固定 資産	機械及び 装置	66,656	1,497	—	8,886	59,267	42,250
	車両及び運搬具	1,835	5,191	—	1,167	5,859	1,660
	工具、器具 及び備品	6,242	1,196	—	1,931	5,508	6,822
	計	74,734	7,885	—	11,985	70,634	50,734

(注) 当事業年度の主な増加額は次の通りです。

車両及び運搬具 プロボックス HEV (1,761 千円)

車両及び運搬具 フォークリフト

8FBH15 (1,760 千円)

2. 引当金の明細

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
賞与引当金	千円 10,209	千円 10,425	千円 10,209	千円 10,425

(注) 計上の方法は、計算書類の重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。

製造原価 科目内説明細

株式会社カノーツス鋼管東海

(単位: 円)

科目	金額
外注加工費	18,147,347
従業員給料手当	87,710,177
残業手当	3,806,367
通勤手当	1,998,397
従業員賞与	20,451,256
福利厚生費	22,061,993
中退金掛金	1,617,000
作業消耗品費	16,771,237
光熱水道費	11,116,432
倉庫賃借料	83,126,231
機械車輌リース料等	1,604,400
修繕・維持費	4,397,296
業務委託費	6,641,496
減価償却費	11,985,298
計	291,434,927

販売費及び一般管理費 科目内訳明細

株式会社カノーツス鋼管東海

(単位: 円)

科目	金額
役員報酬	13,500,000
交際費	536,824
旅費及び交通費	1,570,543
通信費	1,272,698
消耗備品費	971,818
租税公課	985,922
修繕維持費	1,265,840
業務委託費	2,443,864
雑費	3,307,265
計	25,854,774

第 3 6 期

(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

事 業 報 告

事 業 報 告 の 附 属 明 細 書

計 算 書 類

計 算 書 類 の 附 属 明 細 書

2025年4月30日

株式会社カノ一クス鋼管九州

事 業 報 告

自 2024年 4月 1日
至 2025年 3月 31日

1. 事業の現況に関する事項

(1) 事業の経過及びその成果

当事業年度におけるわが国経済は、インバウンド需要の恩恵や雇用・所得環境が改善する中で、景気は緩やかな回復基調にある一方で、物価上昇を考慮した実質賃金の持続的な上昇には至ってはおらず、原材料価格の高止まりや米国大統領による政策、中国における不動産不況による更なる経済悪化リスク、各金融政策の変更影響などによる不安定な為替相場等、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社の主要な取引先である自動車産業では、完成車メーカーによる認証不正問題等が相次ぎ発覚し、不安定な生産が続きました。

このような状況下、九州地区における加工機能の強化を目的として、2018年5月より鋼管切断事業を開始し、7年目を迎えた当社は、安定供給の基盤づくりと品質面の向上を図るべく取り組んで参りました。

その結果、当事業年度の業績は、販売面では売上高 47,493 千円(前年同期比 1.4%増)と増加したものの、人員確保における採用費用の増加等があり、利益面におきましては経常利益 1,411 千円(同 21.4%減)、当期純利益 1,005 千円(同 25.9%減)の結果となりました。

(2) 設備投資の状況

該当ありません。

(3) 直前三事業年度の財産及び損益の状況

	第 33 期 (2022年3月期)	第 34 期 (2023年3月期)	第 35 期 (2024年3月期)	第 36 期 (当事業年度) (2025年3月期)
売上高 (千円)	38,971	34,644	46,822	47,493
経常利益 又は経常損失 (△) (千円)	3,170	△2,775	1,796	1,411
当期純利益 又は当期純損失 (△) (千円)	2,488	△2,958	1,357	1,005
1株当たり当期純利益 又は当期純損失 (△) (円)	1,777.85	△2,112.95	969.98	718.36
総資産 (千円)	109,566	99,479	97,724	98,859
純資産 (千円)	96,024	93,066	94,424	95,429
1株当たり純資産額 (円)	68,588.80	66,475.85	67,445.83	68,164.19

(4) 対処すべき課題

人員の確保について取り組むとともに、加工の効率化や加工受注の増加に向けて邁進してまいります。

(5) 主要な事業内容

鉄鋼加工品、その他鉄鋼製品の製造、加工及び販売
倉庫荷役業

(6) 主要な営業所及び工場

本社及び工場 大分県中津市大字福島 915 番地

(7) 従業員の状況

従業員数	平均年齢
3名	43歳5ヶ月

(8) 重要な親会社の状況

親会社の状況

当社の親会社は株式会社カノークスであり、同社は当社の株式を1,400株（出資比率100%）保有しております。当社は親会社からの鋼材の供給を受けての鋼材の切断や倉庫荷役業務を行っております。

(9) 主要な借入先及び借入額

該当事項はありません。

2. 株式に関する事項

(1) 発行可能株式総数 2,400株

(2) 発行済株式の総数 1,400株

(3) 株主数 1名

株主名	持株数	議決権比率
株式会社カノークス	1,400株	100%

3. 会社役員に関する事項

地位	氏名	重要な兼職の状況
代表取締役	柿田 直人	
取締役	藤本 善久	株式会社カノークス 取締役常務執行役員 営業本部長 兼 西日本支社長
取締役	南形 武志	株式会社カノークス 九州支店長
取締役	水野 伸	株式会社カノークス 執行役員名古屋本店長兼自動車鋼材部長
監査役	森 信嘉	株式会社カノークス 審査部長

(注) 1.代表取締役 柿田直人は、2025年4月1日付で辞任し、南形武志が2025年4月1日付で代表取締役に就任いたしました。

2.取締役 藤本善久は、2025年4月1日付で辞任いたしました。

3.2025年4月1日開催の臨時株主総会において、濱田顕吉が取締役に就任いたしました。

4.2025年4月1日開催の臨時株主総会において、山内俊浩が取締役に就任いたしました。

5.取締役 水野伸は、2025年4月1日付で株式会社カノークス執行役員営業本部長自動車鋼材管掌 兼名古屋本店長に就任いたしました。

6.監査役 森信嘉は、2025年4月1日付で株式会社カノークス業務部長兼業務安全衛生課長に就任いたしました。

事業報告の附属明細書

第 3 6 期

自 2024年 4月 1日

至 2025年 3月 31日

1. 他の法人等の業務執行取締役等との重要な兼職の状況

区分	氏名	兼務先	兼務の内容
取締役	藤本 善久	株式会社カノーツス	取締役常務執行役員 営業本部長 兼 西日本支社長
取締役	水野 伸	株式会社カノーツス	執行役員 名古屋本店長兼自動車鋼材部長

第 36 期
貸 借 対 照 表
(2025年3月31日現在)

(単位: 円)

株式会社カノーツス鋼管九州

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
I 流 動 資 産	(60,899,353)	I 流 動 負 債	(3,430,128)
現 金 及 び 預 金	55,083,184	買 掛 金	137,034
売 掛 金	5,037,608	未 払 金	850,073
未 収 入 金	414,456	未 払 費 用	72,096
そ の 他	364,105	未 払 法 人 税 等	405,042
		未 払 消 費 税	1,519,623
		賞 与 引 当 金	393,960
		そ の 他	52,300
II 固 定 資 産	(37,960,644)	II 固 定 負 債	(0)
(1)有形固定資産	(37,960,644)		
構 築 物	161,000	負 債 合 計	3,430,128
機 械 及 び 装 置	36,265,412		
車 両 運 搬 具	1,227,084	(純 資 産 の 部)	
工具、器具及び備品	307,148	I 株 主 資 本	(95,429,869)
		(1)資 本 金	(50,000,000)
		(2)資本剰余金	(20,000,000)
		資 本 準 備 金	20,000,000
		(3)利益剰余金	25,429,869
		その他利益余剰金	24,424,168
		繰越利益剰余金	24,424,168
		純 資 産 合 計	95,429,869
資 産 合 計	98,859,997	負 債 及 び 純 資 産 合 計	98,859,997

第36期
損益計算書
(自 2024年4月1日至 2025年3月31日)

(単位: 円)

株式会社カノーツ鋼管九州

科 目	金 額
I 売 上 高	47,493,645
II 売 上 原 価	33,371,149
売 上 総 利 益	14,122,496
III 販売費及び一般管理費	12,941,304
営 業 利 益	1,181,192
IV 営 業 外 収 益	
受 取 利 息	218,549
受 取 手 数 料	6,160
雜 収 入	5,463
経 常 利 益	230,172
	1,411,364
税引前当期純利益	1,411,364
法人税、住民税及び事業税	405,663
当 期 純 利 益	1,005,701

株主資本等変動計算書(第36期)

事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

株式会社カノ一クス鋼管九州

(単位:円)

	株主資本						株主資本 合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金			利益剰余金 合計		
			利益準備金	その他利益剰余金				
当期首残高	50,000,000	20,000,000	—	24,424,168	24,424,168	94,424,168		
当期変動額								
当期純利益				1,005,701	1,005,701	1,005,701		
当期変動額合計	—	—	—	1,005,701	1,005,701	1,005,701		
当期末残高	50,000,000	20,000,000	—	25,429,869	25,429,869	95,429,869		

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

定額法によっております。

なお、主な耐用年数は次の通りであります。

機械及び装置	11年
工具器具備品	3年～5年

(2) 引当金の計上基準

賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

(3) 収益及び費用の計上基準

鉄鋼製品等の役務提供に係る収益は、主に加工等による役務提供であり、顧客との契約に基づいて鉄鋼製品等を加工する履行義務を負っております。当該履行義務は、鉄鋼製品等の加工が完了する一時点において、顧客に対する履行義務が充足されると判断し、加工完了時点で収益を認識しております。

2. 貸借対照表に関する注記

(1) 資産に係る減価償却累計額

有形固定資産の減価償却累計額	53,718千円
----------------	----------

(2) 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務

短期金銭債権	5,303千円
短期金銭債務	156千円

3. 損益計算書に関する注記

関係会社との取引

営業取引による取引高

売上高	46,018千円
仕入高及び製造原価	1,333千円
販売費及び一般管理費の取引高	1,875千円
営業取引以外の取引による取引高	212千円

4. 関連当事者との取引に関する注記

親会社及び法人主要株主等

種類	会社等の名称	議決権等の被所有割合	関連当事者との関係	取引内容	取引金額(千円)	科目	期末残高(千円)
親会社	株式会社カノーカス	被所有 直接 100%	鋼管加工及び 倉庫荷役	鋼管の切断	41,772	売掛金	4,889
				倉庫荷役	4,245	未収入金	414

取引条件及び取引条件の決定方針等

① 鋼管の加工代金及び倉庫荷役は市場の実勢価格を基準として取り決めております。

5. 1株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産額	68,164円19銭
1株当たり当期純利益	718円36銭

6. 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。

計算書類の附属明細書

第 3 6 期

自 2024年 4月 1日

至 2025年 3月 31日

1. 有形固定資産及び無形固定資産の明細

2. 引当金の明細

3. 製造原価報告書

4. 販売費及び一般管理費の明細

1. 有形固定資産及び無形固定資産の明細

(単位：千円)

区分	資産の種類	期首帳簿 価額	当期 増加額	当期 減少額	当期 償却額	期末帳簿 価額	減価償却 累計額
有形固定 資産	構築物	173	—	—	12	161	79
	機械及び 装置	44,184	—	—	7,919	36,265	50,756
	工具、器具 及び備品	150	272	—	115	307	2,209
	車両運搬具	1,702	—	—	475	1,227	672
	計	46,209	272	—	8,521	37,960	53,718

2. 引当金の明細

(単位：千円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
賞与引当金	393	393	393	393

(注) 計上の方法は、計算書類の重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。

製造原価 科目内説明細

株式会社カノーツス鋼管九州
(単位:円)

科目	金額
スクラップ仕入高	1,317,053
従業員給料手当	9,102,958
残業手当	96,043
通勤手当	390,540
従業員賞与	577,200
退職給付費用	216,000
健保厚生保険料	1,507,387
労災保険料	91,938
雇用保険料	96,838
厚生費	65,984
作業消耗品費	568,607
光熱水道費	1,387,593
倉庫機械修繕費	530,760
倉庫業務委託費	8,421,061
機械車輌リース料等	480,000
減価償却費	8,521,187
計	33,371,149

販売費及び一般管理費 科目内訳明細

株式会社カノーツス鋼管九州
(単位:円)

科目	金額
役員報酬	7,500,000
交際費	87,308
旅費及び交通費	810,819
通信費	245,609
消耗品費	459,851
租税公課	456,422
賃借料	1,869,324
修繕維持費	235,114
業務委託費	54,540
雑費	1,211,502
支払手数料	10,815
計	12,941,304